



令和7年度新入生 入学説明会を実施しました 「チーム西大村」一丸となって、心を込めてお迎えさせていただきました

1月23日(木)の午後から、中央小学校の体育館にて入学説明会を実施しました。
会の概要は下記のとおりです。

- (1) 校長あいさつ
- (2) 市教育委員会教育相談室から…………… 室長、SSWによる不登校等についてのお話し
- (3) 生徒指導主事から…………… 大村市統一生徒心得、制服等について
- (4) 生徒指導部自転車担当から…………… 自転車通学について
- (5) 部活動育成会担当から…………… 部活動について
- (6) 教務主任から…………… 学用品関係と今後の日程について

なお、校長あいさつでお伝えしたのは以下の3点

1点目:新入生の入学状況について

今日現在で、男子104名、女子97名、合計201名、6クラス編成の予定

2点目:本校のようすについて

西大村中学校は、生徒たちが行事や勉強、部活動に本気で取り組み、さまざまなことに挑戦してくれている。学校の中や職員室の雰囲気は、他校の人たちがうらやましく思うような、とても素敵などころ。体育館も、市内で一番上等のものが間もなく完成する。

3点目:保護者の皆様にお願したいこと

子どもたちは、これから思春期という一番多感な時期を迎える。また、3年後には自力で進路を切り拓く人生の節目を迎える。一人一人の生徒を、いい方向に導いていくためには、学校と保護者が力を合わせて思いを一つにして進めていくことが肝要。気になることがあれば、いつでも気軽にご相談ください。

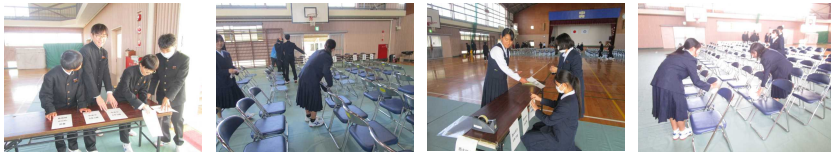
※上記の会が体育館で進行する間、入学予定の6年生は、各校のクラスごとに分かれて、中学校で各教科ごとの模擬授業に参加しました。

その後、体育館に戻ってきたのですが、そこで素晴らしい姿を見ることができました。

皆が戻ってきたときには、まだ上記の会が進行していました。すると、西大村小学校、中央小学校両校の6年生は、体育館後方に無言で整列して座り、静かに会が修了するまで待機していました。この姿がとても素晴らしく、私も思わず声を掛けました。素敵な新入生の入学を心から歓迎します。

【以下に少しだけ、ようすを紹介します】

ありがとう。2年1組の皆さんが準備を手伝ってくれました。



模擬授業の様子です。特別支援学級を含めて8つの授業を開設しました。

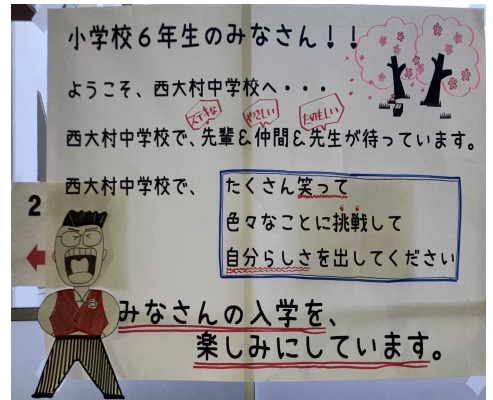


部活動見学にもたくさんの方が足を運んでくれました。



来年度も楽しみです。

1・2年生の皆さんも、素敵な先輩になるため、まずは新2年、新3年の0学期をしっかりと過ごしてくださいね。よろしくお祈りします。



こんな素敵な案内を作ってくれました。



ご参加、ありがとうございました。

先生方も、日々、授業を磨いています。

「豊かな学力」を身に付けさせるため、先生方は授業改善に本気で取り組んでいます。そのために、全ての教科で研究授業を実施し、小学校の先生方を含めてたくさんの先生方に公開して、意見交換を行い、授業を磨いています。1月に3本、2月に2本の授業が公開されます。近々に実施された2つの授業を紹介します。

【音楽科】

1月22日(水)6校時
2年2組の授業

本時の目標

和音を構成する音を活かし、旋律の動きや音色が生み出す特徴や雰囲気を感じながら、思いや意図をもった音楽表現を創意工夫する。

一人一台端末を使って、作曲をする授業。一人一人が夢中になって、キーボードをたたき、耳を澄ましながら音づくりに取り組んでいました。最後に仲間と自らが作曲した曲を聞きあう姿がとても素敵でした。



【理科】

1月29日(水)2校時
1年4組の授業

本時の目標

物体に力を働かせる実験を行い、ばねに加える力の大きさとばねの伸びとの関係について表やグラフで表現しながら規則性を見出す。

一人一人が与えられた役割を果たしながら実験を行い、規則性を見出す授業。目をキラキラさせながら目盛りに集中する姿が印象的でした。グループ内で意見交換をしながらよく考えていました。



間もなくテスト・・・寓話から学んでみましょう

【「頑張る木こり」というお話】

昔々、一人の木こりが材木屋に仕事を探しにいった。給金はよく、仕事の条件もさらによかったので、木こりはそこでしっかり役に立とうと決心した。最初の日、親方のところへ挨拶に向かうと、親方は斧を一本手渡して森の一角を割り当てた。男はやる気満々で森に向かい、その日一日で18本の木を切り倒したのだった。「よくやったな」親方は言った。「この調子で頼むぞ」翌朝は誰よりも早く起きて森に向かった。ところがその日は努力も虚しく15本が精一杯だった。「疲れているに違いない」そう考えた木こりは、その日、日暮れとともに寝ることにした。夜明けがくると、18本の記録を超えてやるぞ、と心に決めて家を出た。ところが18本どころかその半分も切り倒せなかった。次の日は7本、そのまた次の日は5本、そして最後には夕方になって2本目の木と格闘していた。何と言われるだろうとびくびくしながらも、木こりは親方に正直に報告して、これでも力のかぎりやっています、と言った。親方は彼にこう尋ねた。「最後に斧を研いだのはいつだ?」「斧を研ぐ?研いでいる時間はありませんでした。木を切るのに精一杯です」

この話の大切なポイントはどこでしょうか?

『木こりは木を切るという仕事に気を取られ、斧を磨くという大切な仕事を疎(おろそ)かにしてしまっただという点です。』

皆さんも、何か疎(おろそ)かにしていることはありませんか?

間もなく、今年度最後の期末テストがやってきます。

今さらそんなことを言われても・・・、と思うでしょうが、反省や振り返りを次に生かすことが大事です。いろんなことから学んでほしいと思い紹介しました。

スクープ画像!!池の鯉を食べたのはこいつだ!!

しばらく前までは、昼休みにエサを与える生徒がおり賑やかだった中庭の池。今では、鯉が泳ぐ姿もなく寂しくなっていました。上記の音楽の授業の際、何気に中庭を覗くと写真の姿がありました。これも自然の摂理、仕方ないのかな・・・?

